

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 77 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1 日時 2018 年 11 月 28 日 (水) 10:00～11:50

2 場所 5 東洋海事ビル D 会議室

3 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 新堀部会長, 高橋副部会長, 加藤幹事, 大間, 川上, 小山 (人事案件途中から出席), 坂下, 白井, 田中, 中澤, 中島 (人事案件途中から出席), 深澤, 藤田, 柳原, 山本 (15 名)

(欠席委員) 斉藤, 古谷 (2 名)

(代理委員) 廣瀬 恵美子 (東芝/小畑代理) 本山 光志 (日揮/久保代理) 大森 宏貴 (中部電力/久野代理) 門井 務 (関西電力/片岡代理) 北山 一美 (人事案件終了後から出席) (東京工業大学/高橋代理) 北島 英明 (原子力安全推進協会/田村代理) (6 名)

(委員候補者) 元辻 弘行 (原子燃料工業) (1 名)

(常時参加者) 吉居 (1 名)

(欠席常時参加者) 白井 (1 名)

(説明者) 加藤幹事, 【LLW 放射能評価分科会】北島英明幹事, 本山光志常時参加者, 【新知見収集・評価 WG】藤田委員, 【輸送容器分科会】溝渕委員 (5 名)

(事務局) 中越, 田老, 皆月 (3 名)

4 配付資料

FTC77-0 第 77 回原子燃料サイクル専門部会議事次第 (案)

FTC77-1 第 76 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)

FTC77-2 人事について

FTC77-3-1 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準改定原案に関する標準委員会決議投票結果について

FTC77-3-2 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準

改定原案に関する標準委員会決議投票で受付けた意見への回答案について

FTC77-3-3 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 改定前後比較表

FTC77-4-1 専門部会運営通則の廃止, 専門部会運営細則の新設について

FTC77-4-2 専門部会運営通則の廃止

FTC77-4-3 専門部会運営細則 (現 専門部会運営通則) の新旧比較について

FTC77-5-1 基本戦略タスク 新知見収集・評価 WG の活動状況について

FTC77-5-2 標準策定 5 ヶ年計画の更新ガイドライン (案)

FTC77-5-3 新知見のスクリーニング基準 (案) - サイクル部会 -

FTC77-6 「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013」の改定について

FTC77-7 分科会活動状況

#### 参考資料

FTC77-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿

FTC77-参考 2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

## 5 議事内容

事務局から開始の時点で委員 23 名中、代理委員を含め 18 名の出席があり、成立に必要な委員数（16 名以上）を満足している旨報告された。

### （1）前回議事録の確認（FTC77-1）

前回議事録（案）について配付された内容で承認された。

### （2）人事について（FTC77-2）

配付資料 FTC77-2 に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、専門部会の委員退任等が確認され、審議の結果、専門部会の委員選任等が決議された。

#### 【専門部会】

##### 1) 委員退任の確認

大久保 和俊

##### 2) 委員選任の決議

元辻 弘行（原子燃料工業）

##### 3) 委員再任の決議

なし

##### 4) 常時参加者登録解除の確認

なし

##### 5) 常時参加者登録承認の決議

なし

#### 【分科会】

##### 1) 主査（副主査・幹事）退任の確認

#### 【LLW 放射能評価分科会】

副主査 岩崎 智彦（東北大学）

#### 【輸送容器分科会】

副主査 伊藤 千浩（電力中央研究所）

幹事 松本 光郎（原燃輸送）

2) 主査選任の確認

なし

3) 副主査（幹事）指名の確認

【LLW 放射能評価分科会】

副主査 高橋 浩之(東京大学)

【輸送容器分科会】

副主査 浅見 光史(海上・港湾・航空技術研究所)

幹事 高月 英毅(原燃輸送)

4) 委員退任の確認

【LLW 処分安全評価分科会】

新津 茂彦(東京電力ホールディングス)

門井 務(関西電力)

三倉 通孝(東芝)

【LLW 埋設施設検査方法分科会】

新津 茂彦(東京電力ホールディングス)

野村 晶次(日本原電)

脇 寿一(関西電力)

【輸送容器分科会】

菱田 政清(原子力規制庁)

池田 整(日本原燃)

谷内 廣明(トランスニュークリア)

藤沢 匡介(トランスニュークリア)

伊藤 千浩(電力中央研究所)

川上 数雄(オー・シー・エル)

松本 光郎(原燃輸送)

高橋 純(原燃輸送)

中川 祐司(原燃輸送)

田口 誠午(日本原燃)

5) 委員選任の承認決議

【LLW 埋設後管理分科会】

根本 修(東京電力ホールディングス)

田中 正人(関西電力)

【輸送容器分科会】

高月 英毅(原燃輸送)

水谷 淳(東京電力ホールディングス)

北瀬 浩(関西電力)

- 村松 真(日本原燃)  
溝渕 博紀(オー・シー・エル)  
影山 典広 (トランスニュークリア)  
山岡 功((一社)原子力安全推進協会)
- 6) 委員所属変更の確認  
なし
- 7) 常時参加者登録解除の確認  
【LLW 埋設後管理分科会】  
持田 康孝 (日揮)  
【LLW 処分安全評価分科会】  
小松 喬 (三菱マテリアル)  
【輸送容器分科会】  
藤本 武(日本原子力発電)  
磯部 昌美(日本原子力発電)  
山内 健 (東北電力)  
仙波 毅((一社)原子力安全推進協会)  
高荷 道雄(原燃輸送)  
溝渕 博紀(オー・シー・エル)  
日下 史郎 (東京電力ホールディングス)  
上田 敬史(原燃輸送)
- 8) 常時参加者登録承認の確認  
【LLW 埋設後管理分科会】  
齋川 昂太 (日本エヌ・ユー・エス)  
【輸送容器分科会】  
菱田 政清(原子力規制庁)  
福田 拓司(原子力規制庁)  
広瀬 誠(原子力規制庁)  
高橋 秀治 (東工大)  
南波 宏介 (電力中央研究所)  
蓬田 大樹(日本原子力発電)  
高橋 純(原燃輸送)  
伊藤 賢司(神戸製鋼)  
樋口 晃 (日立造船)  
菊池 晴晃(オー・シー・エル)  
【LLW 放射能評価分科会】  
竹内 光男 (ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ)

### (3) 報告・審議

#### 1) 【報告・審議】（標準委員会決議投票結果等報告）

“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順”標準改定原案に関する標準委員会決議投票結果及び受付けた意見への回答案について（FTC77-3-1～3-3）

（担当：事務局，LLW放射能評価分科会 北島幹事，本山常時参加者）

事務局から，標準委員会の決議投票で可決された報告があり，その後，北島幹事，本山常時参加者からご意見に対する回答案の説明があった。回答案については，見直した内容で標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑は以下。

C:コメント No. 15 一般的という意味が曖昧であるため，「一般的な」を削除する。

C:コメント No. 16「本標準改定では，放射能評価方法に応じた全体的な構成として修正したが，各章の構成，細分箇条の記載など，より読み易くなるような努力が必要という指摘があり，今後の課題とした。」は，なお書きにして，最終段落に移す。

- ・「既往標準の部分について，数値の妥当性などが指摘され，可能な限り確認して修正したが，今後の改定作業における既往標準の確認については，今後留意すべき課題と考えられる。」は，修正が不十分のような誤解を与える可能性があるため，表現を見直す。

- ・「事業者側のニーズを取り入れたより踏み込んだ規定化を目指した方が良いという意見もあり，」は，事業者のニーズという表現はおかしいので，「合理性が認められる場合には規定化を目指す」などと，修正する。

- ・「より」の前にカンマを入れる。（→上記の修正で不要となった）

- ・「今後」がダブっているので修正する。（→上記の修正で不要となった）

C:コメント No. 17「分布」を削除する。（比較表は問題ない）

C:コメント No. 4 及び比較表の1 ページ目 クリアランス「の検認制度」を追加する。

#### 2) 【報告・審議】専門部会運営通則の廃止について

（専門部会運営通則の廃止，専門部会運営細則の新設）（FTC77-4-1～4-3）

（担当：加藤幹事）

加藤幹事から，「専門部会運営通則の廃止について」「専門部会運営細則の新設」について説明があった。「専門部会運営通則」については廃止することが決議された。

主な質疑は以下。

Q:休眠中に連絡先が不明になった委員の退任意思確認はどうするのか。

A:課題として基本戦略タスクに報告する。

#### 3) 【報告】基本戦略タスク 新知見収集・評価WGの活動状況について（FTC77-5-1～5-3）

（担当：新知見収集・評価WG委員 藤田）

藤田委員から，新知見収集・評価WGの活動状況について報告があった。

主な質疑は以下。

Q: 国際機関の勧告が国内の法令に取り入れられるのにタイムラグがある。どの時点にて標準に取り入れるべき新知見と判断するのか。

A: 2次スクリーニングにおいて新知見を標準に反映する上での優先度を設定しており、法規類順守に該当する新知見を優先度が高いものとしている。これに基づいてご判断頂けるものと考えている。

Q: 日本政府が条約に基づく義務を履行するためにとった我が国の措置をまとめた報告書なども調査の対象とするのか。

A: 次回の新知見収集・評価WGにて諮って検討したい。

4) 【報告】使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013の改定について（FTC77-6）

（担当：輸送容器分科会 溝渕委員）

輸送容器分科会 溝渕委員から、使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013の改定について説明があった。本件については、標準委員会で報告することとなった。

主な質疑は以下。

Q: 資料中の2. スケジュールの上段の標準番号はF006:2013の誤記ではないか？

A: リサイクル燃料貯蔵分科会所掌の標準改定スケジュールを参考に記載しているため、F002:2010の記載で正しい。輸送容器分科会開催が昨日（11月27日）開催であったことから、分科会での検討資料をそのまま原子燃料サイクル専門部会資料としてエントリーしたため、このような記載となっている。以後の説明資料では、主題のスケジュールをメインに記載するようにする。

5) 【報告】原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について（FTC77-7）

（担当：各分科会代表者等の関係者）

分科会の代表者から、分科会の活動状況について報告があった。

6 その他

次回第78回原子燃料サイクル専門部会は、2月25日（月）10:00から開催することとなった。

以上